

阿武隈中山間地域ではキンギョソウの 二期作栽培が可能である（飯舘村）

福島県農業総合センター 浜地域農業再生研究センター

事業名 福島県営農再開支援事業

小事業名 営農再開に向けた作付・飼養実証

研究課題名 阿武隈中山間地域におけるキンギョソウ栽培の実証(飯舘村)

担当者 佐藤優平、根本知明

I 新技術の解説

1 要旨

夏期冷涼な阿武隈中山間地域では、花きを導入した農業経営が増加している。福島県のキンギョソウ栽培は主に夏から秋にかけて定植し、秋冬に出荷する秋冬作型が多いが、夏期冷涼な阿武隈中山間地域では春に定植する春夏作型を組み合わせた二期作栽培が可能であり、2つの作型で品質の良い切り花を出荷できる。

- (1) 春夏作の作型は、4月20日に定植すると、開花盛期は6月中旬となった。秋冬作の作型は、8月6日に定植すると、開花盛期は10月上旬となった。(図1、表1)。
- (2) 春夏作は、切り花長の平均が91.4cmであり、収穫した切り花のうち97.2%が80cm規格であり、高品質の切り花を出荷できる(表1、図2、図3)。
- (3) 秋冬作は、切り花長の平均が84.8cmであり、収穫した切り花のうち94.5%が70cm規格以上となり、品質の良い切り花を出荷できる(表1、図3)。

2 期待される効果

- (1) 阿武隈中山間地域においてキンギョソウを導入する際の参考となる。

3 活用上の留意点

- (1) 春夏作では中晩性品種「ポトマックアーリーホワイト」、秋冬作では極早生品種「メリーランドオレンジ」を供試した。
- (2) 春夏作では、早生系品種を供試すると草丈が確保できないため、中晩生品種を使用する。
- (3) 栽培方法は、春夏作・秋冬作ともに無摘心栽培で実施した。
- (4) 本試験は飯舘村飯樋(標高463m)のパイプハウスで実施し、通り農業で実施した。
- (5) ハウスの開閉には、自動ハウス開閉装置を使用した。
- (6) キンギョソウをプラグ苗で購入した場合、1苗約17円、1a約68,000円の種苗代がかかる。

II 具体的データ等

作型	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
春夏作			●	—	—	—	■	■	■												
秋冬作													●	—	—	—	—	—	■	■	■

※●は定植、■は開花期を示す。

図1 キンギョソウの二期作栽培暦

表1 キンギョソウの開花期及び切り花品質

作型	品種	開花期			切り花長 (cm)	花穂長 (cm)	茎径 (mm)	出荷規格別割合 (%)			
		始期	盛期	終期				80cm	70cm	60cm	50cm
春夏作	ポトマックアーリーホワイト	6月10日	6月12日	6月14日	91.6 ± 1.3	22 ± 0.4	7.0 ± 0.0	97.2	2.8	0.0	0.0
秋冬作	メリーランドオレンジ	9月21日	10月1日	10月6日	84.8 ± 1.1	17.8 ± 0.1	4.3 ± 0.1	55.6	41.7	2.8	0.0

※開花期は調査花の始期：10%、盛期：50%、終期：90%が開花した日

※切り花長、花穂長、茎径は平均値 ± 標準偏差



図2 春夏作のキンギョソウ開花の様子
(ポトマックアーリーホワイト)



春夏作キンギョソウ
(ポトマックアーリーホワイト)



秋冬作キンギョソウ
(メリーランドオレンジ)

図3 収穫したキンギョソウ

III その他

1 執筆者

佐藤優平

2 実施期間

令和2年度

3 主な参考文献・資料

稲葉善太郎. キンギョソウの無摘心栽培における開花特性と作型開発の可能性. 園雑, 2005, 76(6), 485-492